

運輸総合研究所理事長の佐藤です。お疲れのところ恐縮ですが、閉会に当たり一言申し上げます。

まず、来賓としてご挨拶いただいた藤井国土交通事務次官、基調講演をしていただいた森地茂先生、パネルディスカッションにご登壇いただいた鉄道会社幹部の皆様、長時間にわたりご参加いただいた大勢の視聴者の皆様、そして日頃より当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に御礼を申し上げます。

本日のシンポジウムは、「今後の東京圏を支える鉄道のあり方に関する調査研究」の成果報告会でありました。この調査研究は、基調講演をしていただいた森地先生のご指導の下、パネルディスカッションにご登壇いただいたJR東日本、東急電鉄、東京メトロ、西武鉄道、小田急電鉄、東武鉄道のご支援を受け、当研究所において2012年度から継続して実施しているものであります。改めまして、長期間にわたる森地先生のご尽力と鉄道各社のご支援に御礼を申し上げたいと思います。

また、本日、研究成果報告を行った嶋田研究員、塚本研究員は、それぞれ東急電鉄、小田急電鉄から当研究所に出向して調査研究に従事していただいております。司会を担当した稲本研究員は、東武鉄道から出向して調査研究に従事していただいております。この3社のほか、東京メトロ、西日本鉄道、鉄道総研、鉄道運輸機構、建設技術研究所、復建エンジニアリング、社会システム、成田空港、全日空、日本航空、ニッコンホールディングスの各社が、出向者を派遣して下さっており、当研究所の調査研究活動は、これら研究員に支えられております。この場をお借りして、各社のご支援に対し、心より感謝申し上げます。

こうした研究員の皆さんは、「今後の東京圏を支える鉄道のあり方に関する調査研究」と並んで当研究所が特に力を入れている「2050年の日本を支える公共交通のあり方に関する研究」や「地域交通産業及び地域観光産業の基盤強化と事業革新に関する調査研究」に参画するほか、日本財団に造成していただいた基金を活用したグローバルな交通運輸・観光に関する海外現地調査や、本日のような公開セミナー、各種学会、国際会議における研究成果発表も行っています。本日もご視聴いただいた企業の方で、出向者を派遣して、私共と一緒に調査研究活動

をしてみようとお考えの方がいらっしゃいましたら、大歓迎いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私からは以上です。この後、今後の予定のお知らせがあります。また、アンケートへのご協力も、よろしくお願いいたします。

本日は、最後までご参加いただき、誠にありがとうございました。